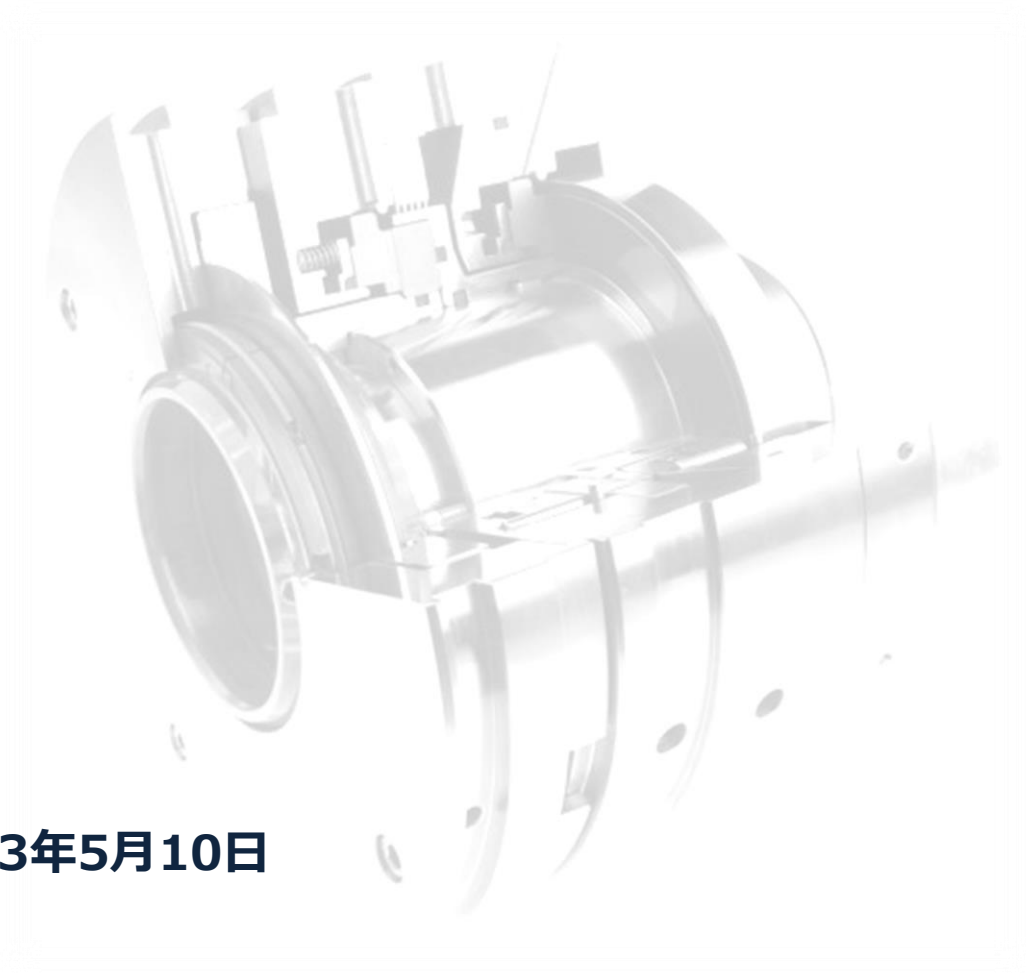


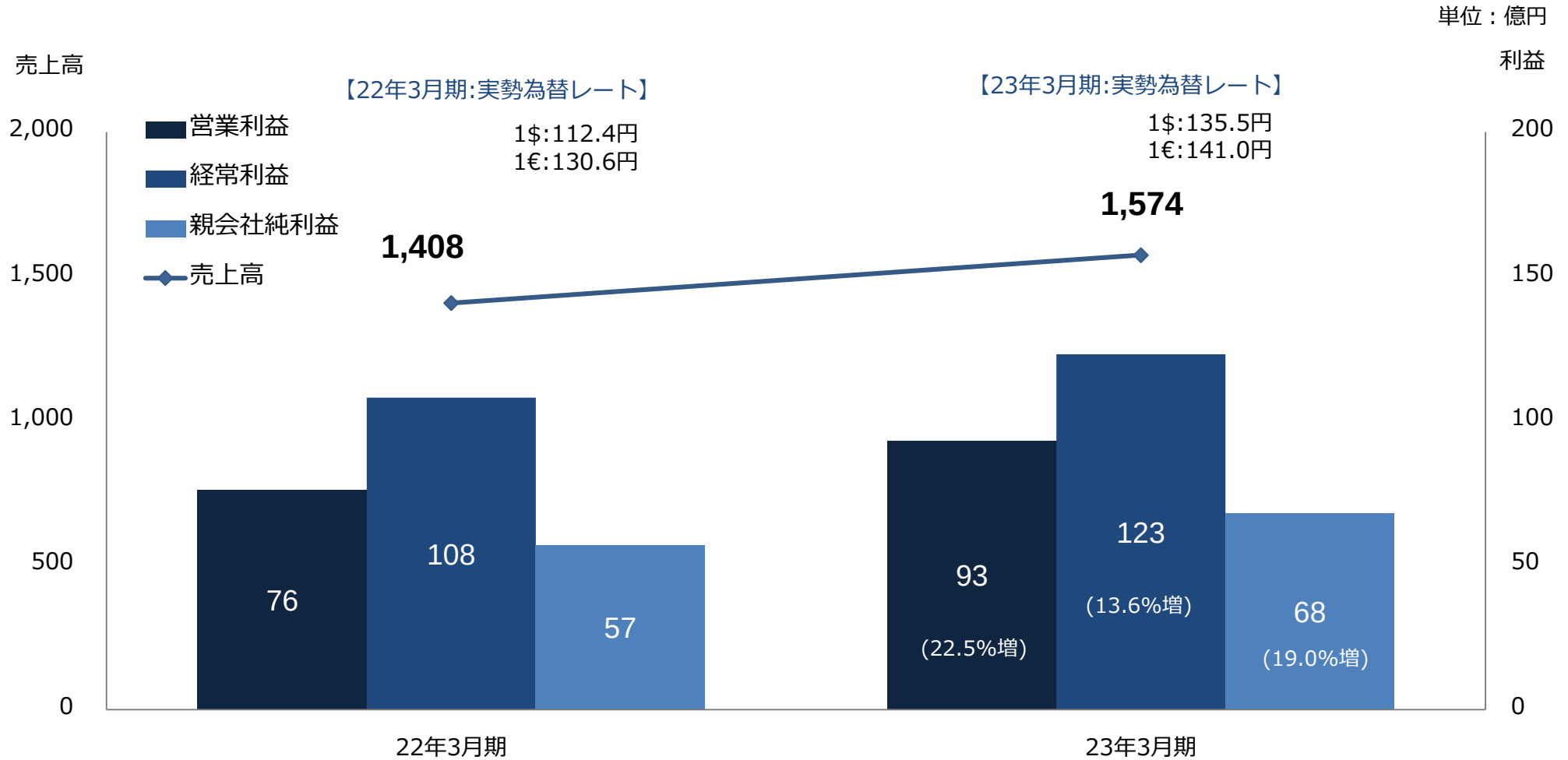
イーグル工業株式会社 2023年3月期 | 決算説明会

2023年5月10日



1. 23年3月期決算概要・24年3月期業績予想

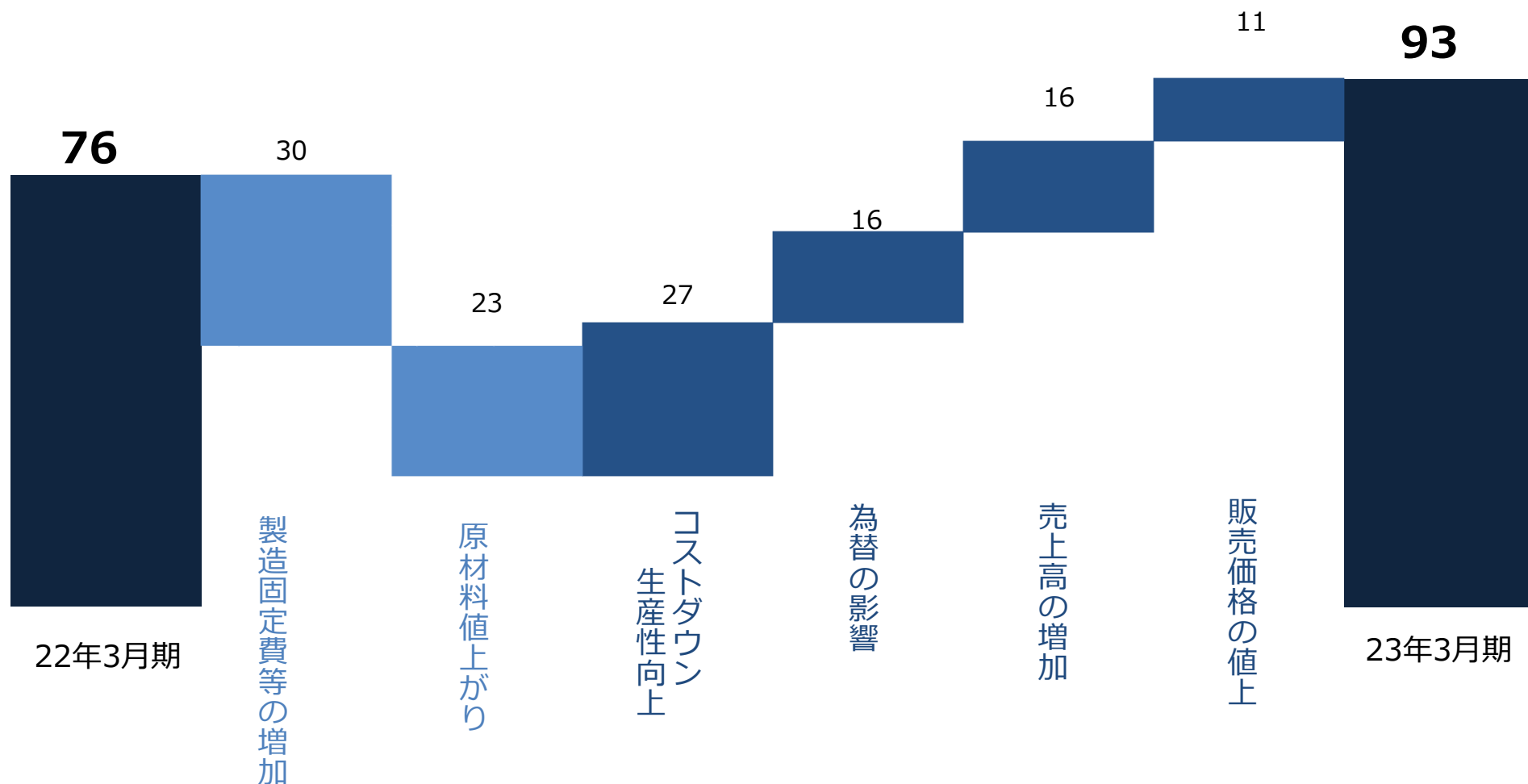
2. 新中期経営計画（新3カ年計画）の概要 今後の事業展開・各セグメントの取り組み

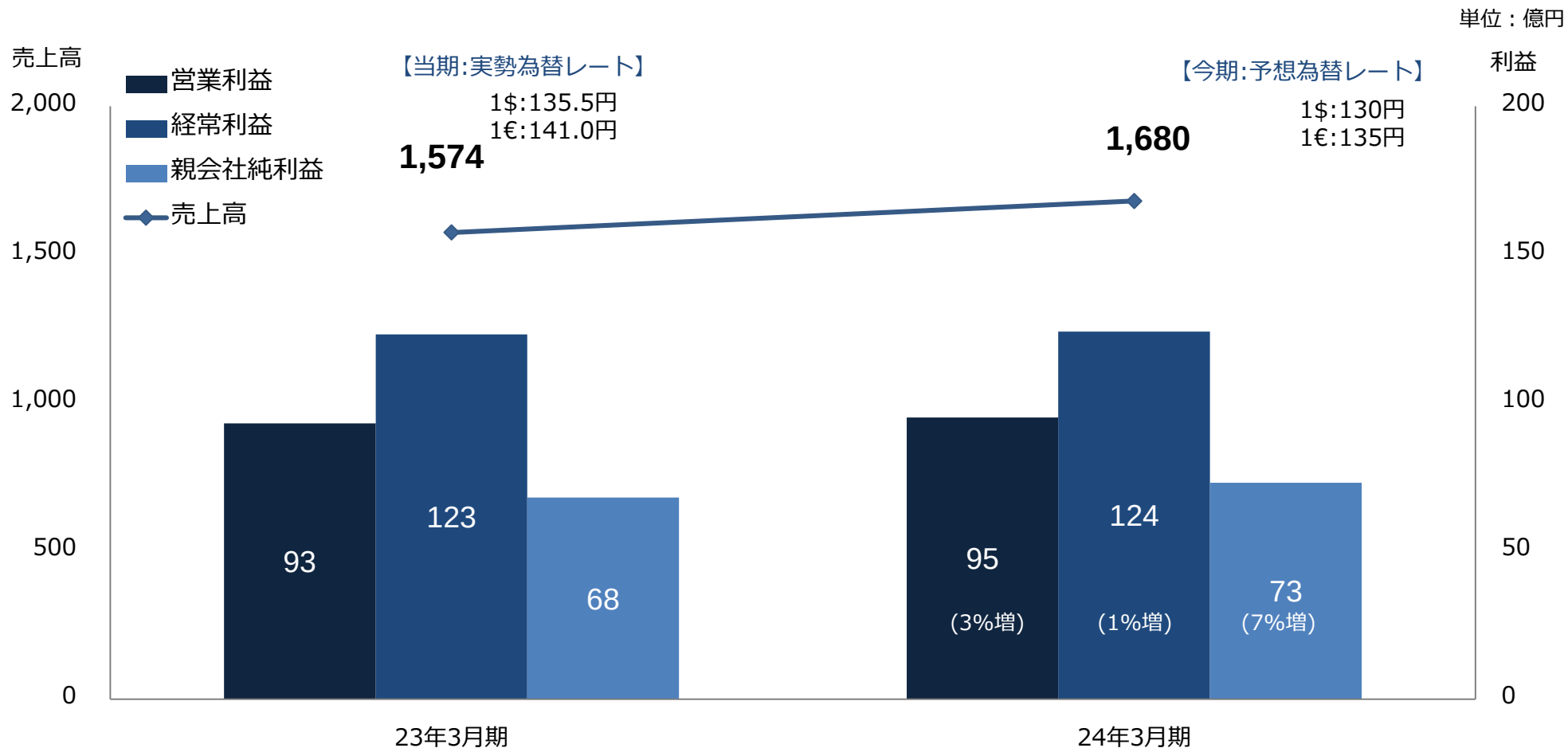


単位：億円

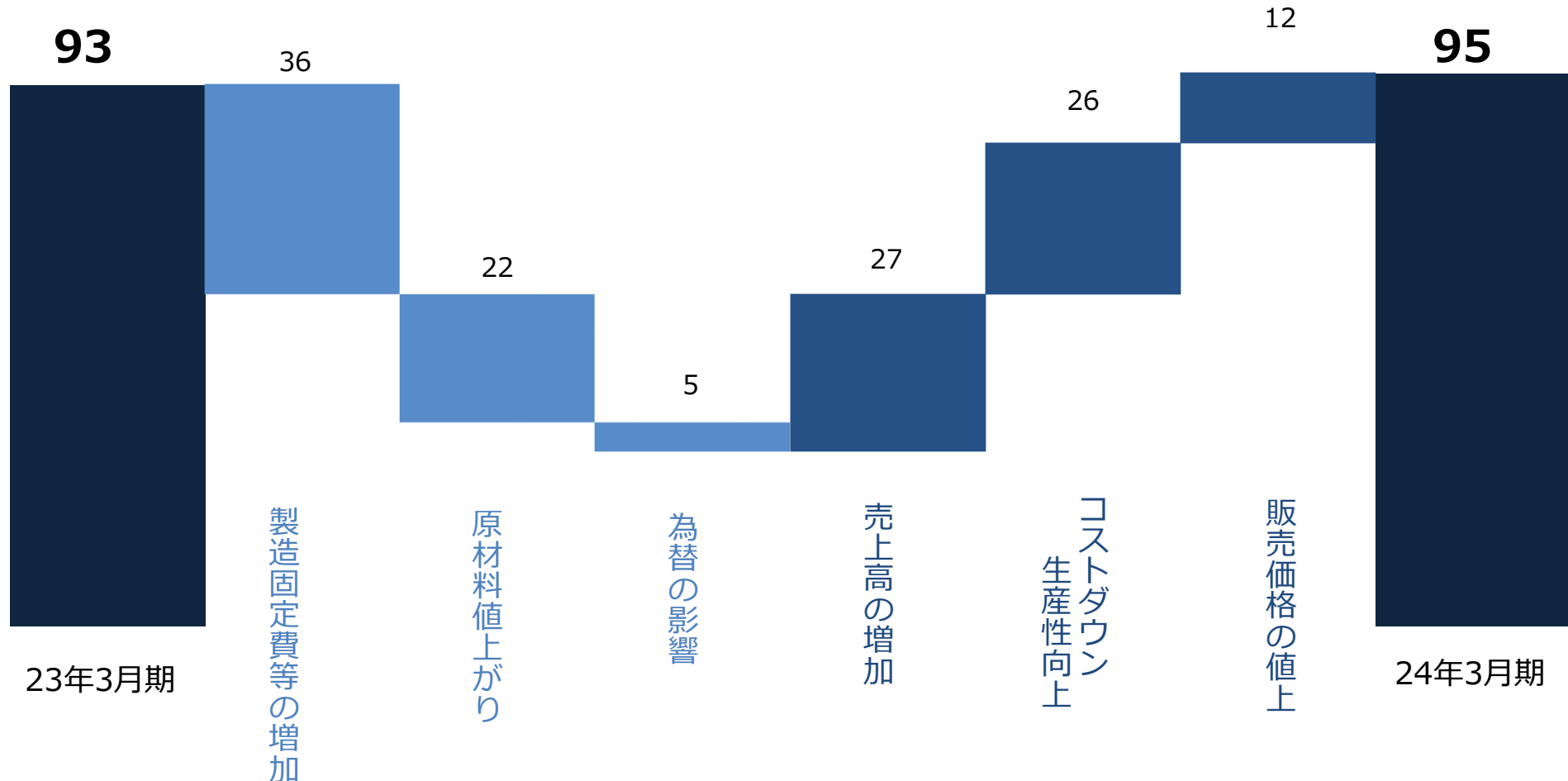
		22年3月期 実績	23年3月期 実績	増減	前期 対比
自動車・建設機械	売上高	816	849	34	104%
	営業利益	20	4	▲16	19%
一般産業機械	売上高	289	338	48	117%
	営業利益	25	36	12	148%
半導体	売上高	122	167	45	137%
	営業利益	7	18	12	274%
舶用	売上高	117	136	19	116%
	営業利益	24	33	9	140%
航空宇宙	売上高	65	84	20	130%
	営業利益	0	1	1	582%
合 計	売上高	1,408	1,574	165	112%
	営業利益	76	93	17	123%

単位：億円





単位：億円



単位：億円

		23年3月期 実績	24年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	849	920	71	108%
	営業利益	4	24	20	632%
一般産業機械	売上高	338	352	14	104%
	営業利益	36	32	▲4	88%
半導体	売上高	167	210	43	126%
	営業利益	18	23	5	125%
船用	売上高	136	126	▲10	93%
	営業利益	33	13	▲20	39%
航空宇宙	売上高	84	72	▲12	86%
	営業利益	1	3	2	327%
合 計	売上高	1,574	1,680	106	107%
	営業利益	93	95	2	103%

1. 23年3月期決算概要・24年3月期業績予想

2. 新中期経営計画（新3カ年計画）の概要 今後の事業展開・各セグメントの取り組み



主要推進項目

1. 変化への巧緻的対応

2. ESG経営

3. 永遠のゼロ

「顧客から信頼される製品品質の確保」

「世界同一品質の確保」の実現

4. TCD/ムダ半

「Total Cost Down」

「ムダの排除～すべてを半分に」

による利益創出

5. DXの推進

6. 次世代独自技術製品

7. 人間尊重/人財育成

計画目標（24年3月期～26年3月期）

・最終年度業容目標（26年3月期）

売上高 2,000億円 営業利益 145億円

（営業利益率 7%以上）

・株主還元

総額180億円を目安とした株主還元を実施

（自己株式の取得）約120億円の自己株式を取得

（配当）DOE 2.5%以上、各期年間70円の配当を継続

将来の目指す姿

資本コストを上回る投資効率の良い収益性の達成

（目標）ROE 10%以上

ROIC 8%以上

ICE(内燃機関車) 向け製品減の対応

自動車・建設機械業界向け事業の損益分岐点低下

EV向け製品・EV化でも利用される製品群の継続した拡販

各セグメントの成長に向けた取り組み

一般産業機械業界向け事業の収益性向上

半導体業界向け事業の販売拡大

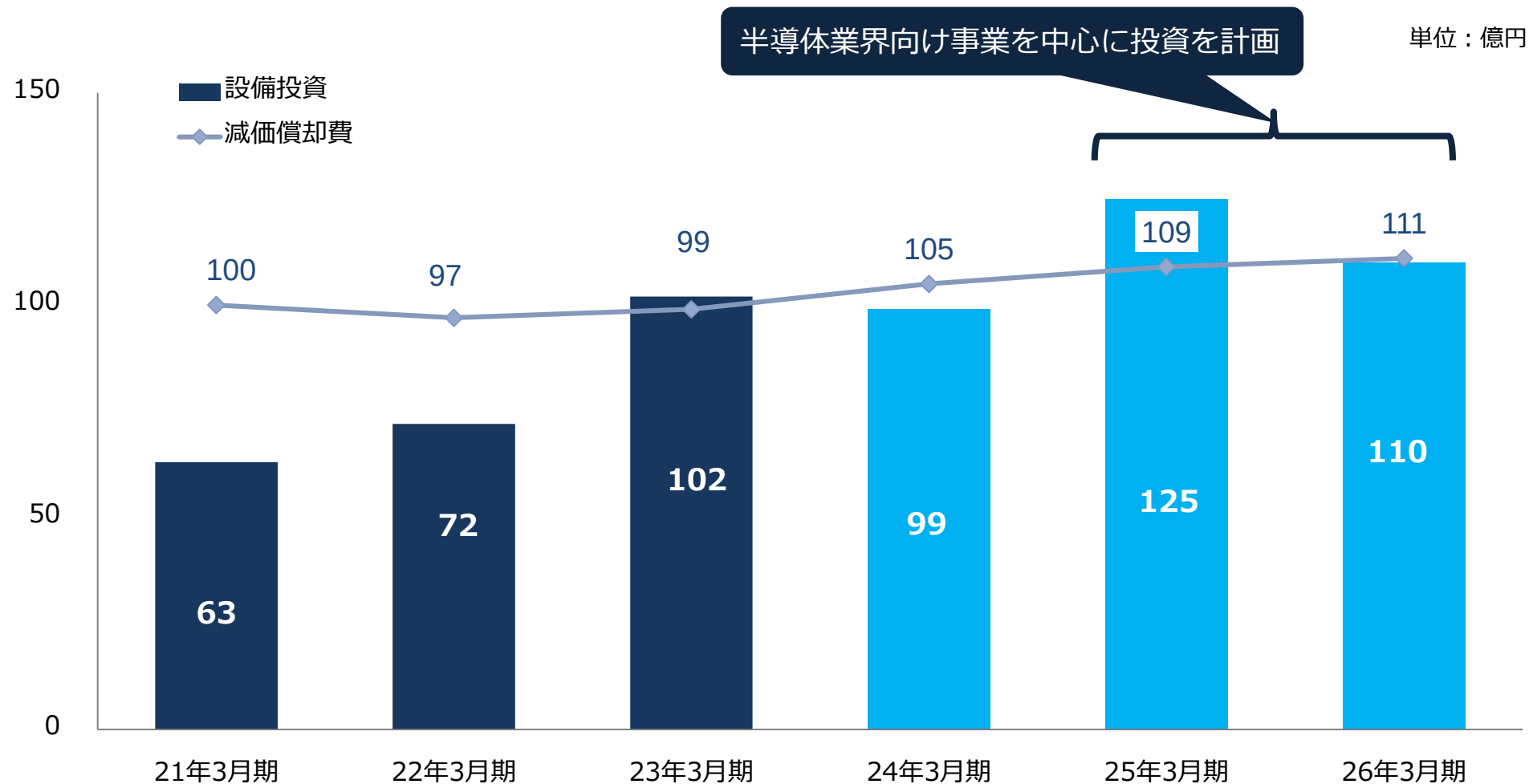
民間航空機市場・宇宙開発への積極的参画

原子力、防衛関連市場のニーズ増を見据えた準備

次世代モビリティ・次世代エネルギー市場への新商品開発

単位：億円

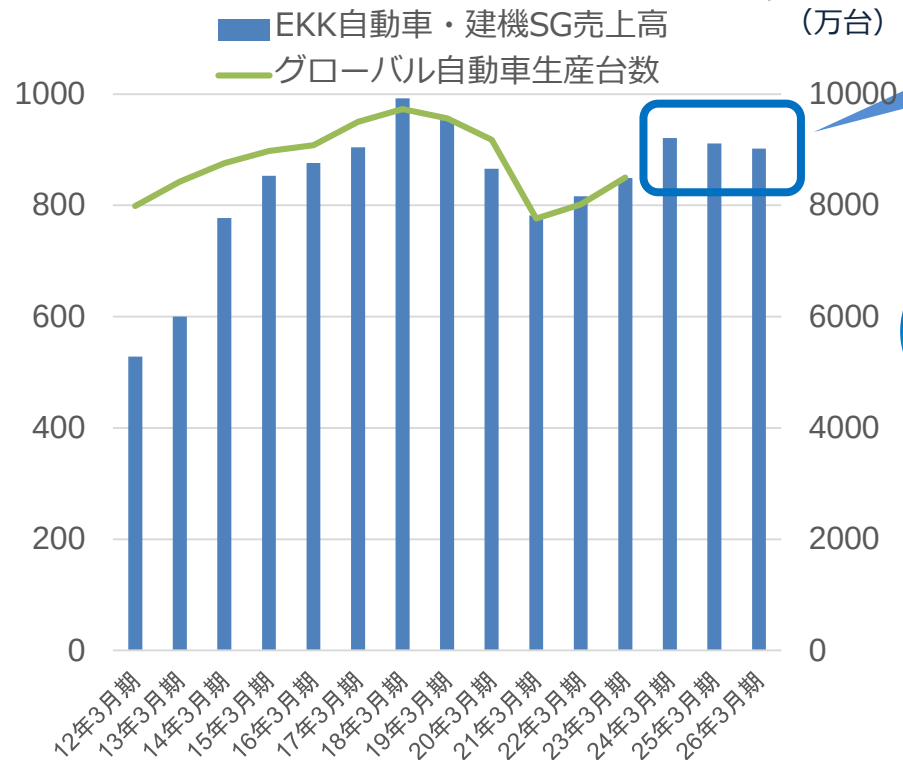
	24年3月期 (2023年度)	25年3月期 (2024年度)	26年3月期 (2025年度)
売上高	1,680	1,850	2,000
営業利益 (営業利益率)	95 (5.7%)	117 (6.3%)	145 (7.3%)
経常利益	124	145	174
親会社純利益	73	86	103



	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期 (予想)	25年3月期 (予想)	26年3月期 (予想)
配当金 (円)	50	50	70	70	70	70
配当性向 (%)	61.2	43.0	50.1	44.8	35.8	28.0
自己資本比率 (%)	47.8	52.1	54.0	52.4	52.1	52.4
一株当たり利益 (円)	81.70	116.34	139.82	156.15	195.52	250.26
ROE (%)	5.0	6.4	6.8	7.1	8.4	9.8
ROA (%)	2.3	3.2	3.6	3.8	4.4	5.1
ROIC (%)	3.1	3.9	4.5	4.4	5.3	6.4

自動車・建設機械セグメント売上高実績・見通し
グローバル自動車生産台数（実績）

売上高（億円）

グローバル
自動車生産台数
（万台）

グローバル自動車生産動向の低迷
EV化進展により既存品販売は減少見通し

将来に向けた重点施策

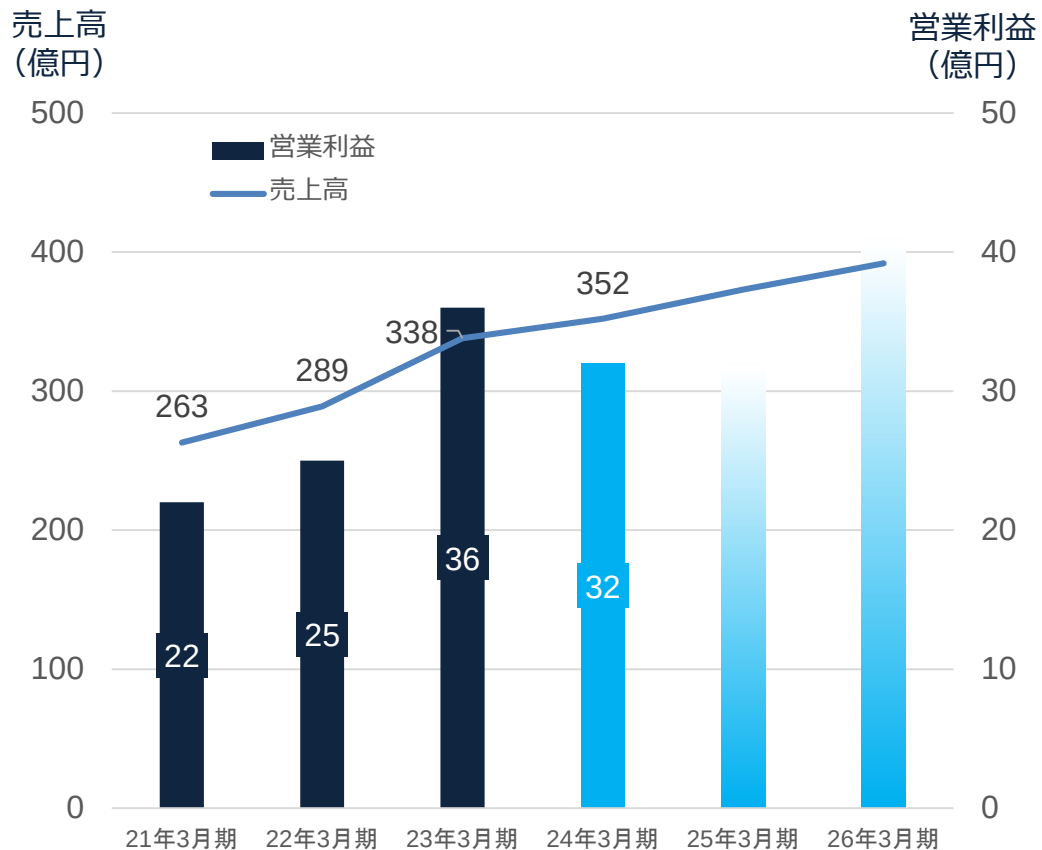
新商品開発と拡販

EV向け製品/サスペンション向けバルブ/HyBEKSTER

収益性向上の更なる取り組み

コストダウン/販売価格の見直し

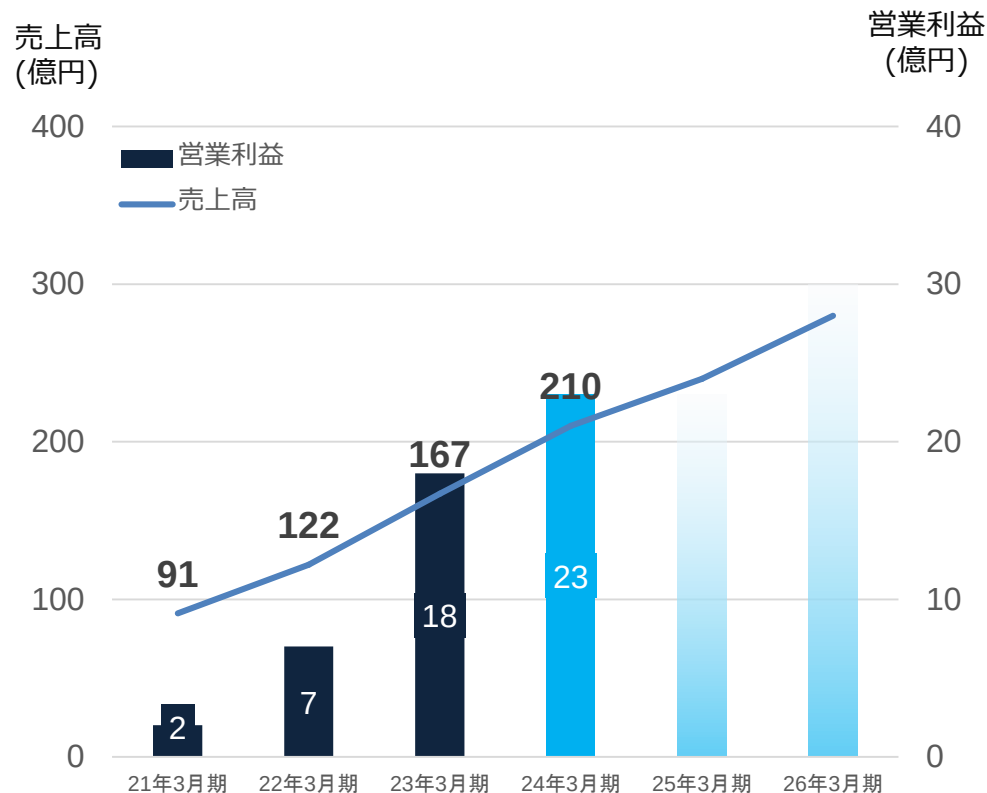
一般産業機械業界向け事業の売上高・利益推移見通し



一般産業機械業界向け事業のビジネスモデル



半導体業界向け事業の売上高・利益推移見通し



磁性流体シール



半導体や液晶の
製造装置の真空
シール

高機能Oリング



弾力性とテフロン
耐薬性・熱安定性
を持つ合成ゴム

溶接金属ベローズ



半導体・液晶パネル
製造装置用の往復
駆動部等に使用

ロータリージョイント



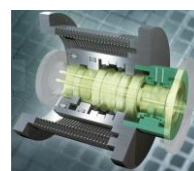
半導体ウェハの
研磨やラッピング
装置等に使用

スペリアドアシール



半導体製造装置用
ゲートバルブにゴム
を焼き付けた弁体

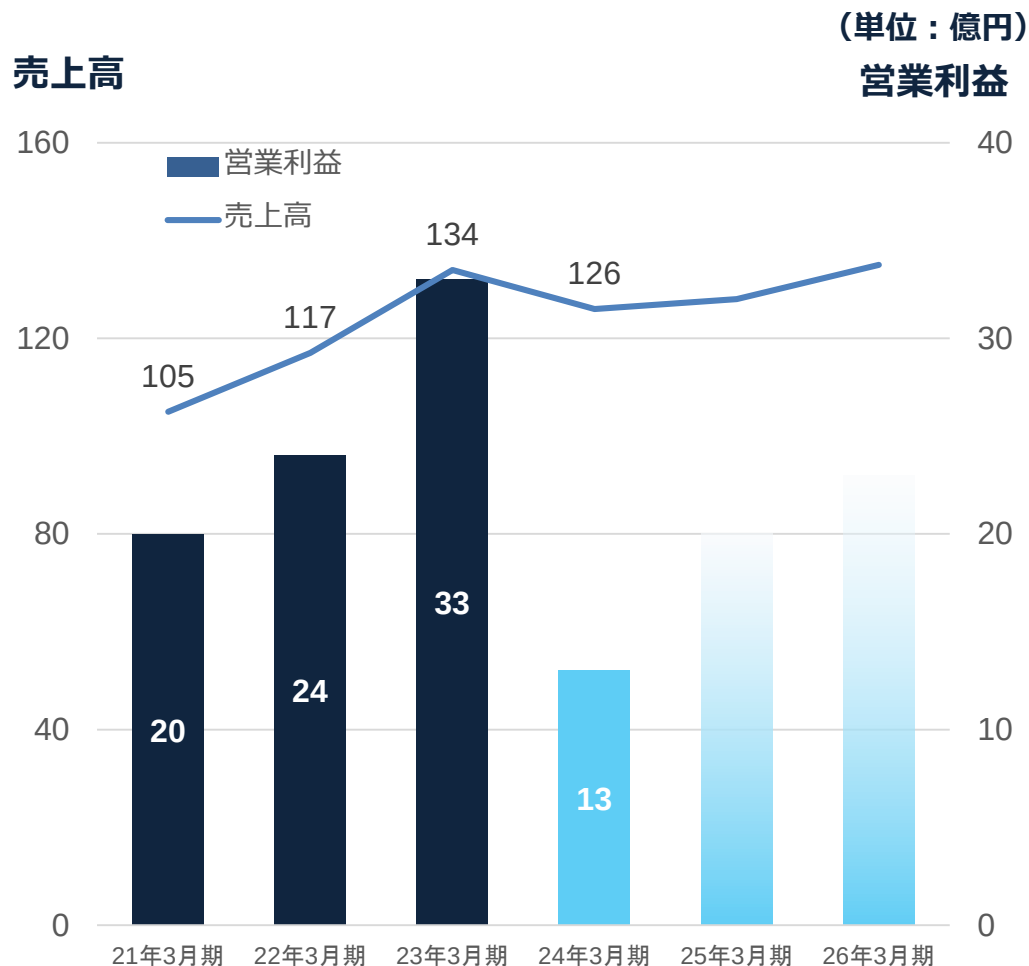
ハイブリッドシール



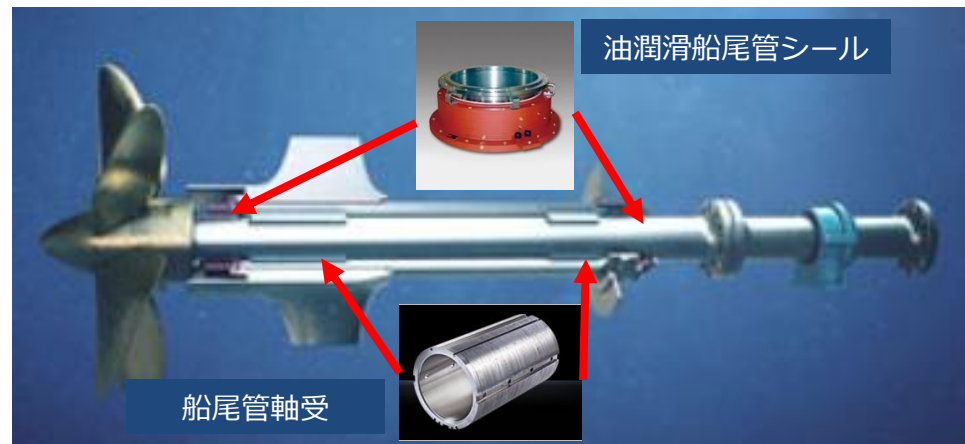
磁性流体シール、
ベローズ、
ロータリージョイント
等を組合わせたシール

半導体製造装置向けへの拡販が今後も控えており将来の成長ドライバーとして注力

売上高



船用業界向け事業の主要製品



- ・ 中大型船船尾管シールのグローバルでトップシェア
- ・ 新造船納入後アフターサービスにて収益確保

船用業界の現況と今後の事業動向

- ・ 22年度LNG船を中心に過去最高の新造発注
- ・ 23年度は一時的に落ち込むが中期経営計画期間中に売上・利益は回復見通し

航空機エンジン

民間航空機向け市場

- 次世代エンジン向け開発試験対応中
- 単通路機体向けエンジン量産検討開始



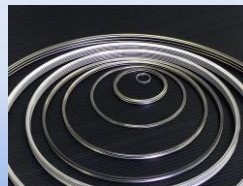
防衛 / 次期戦闘機

- 次期戦闘機用エンジン：日英伊の共同開発
- 各種シールの採用に向けて活動中



次期戦闘機イメージ

出典：防衛省ホームページ



セグメントシール他、各種シール類

宇宙開発プロジェクト

H3ロケット

- 第1段エンジンLE-9 ターボポンプにメカニカルシールを搭載



メカニカルシール、各種シール、バルブ類



防衛関連統括室

地政学的リスク拡大を背景に
防衛産業へのニーズが高まる

防衛戦闘機・船舶・潜水艦・車両など
各種EKK製品が採用



各種EKK製品



原発関連統括室

GX・クリーンエネルギーの需要増
原発再稼働・次世代革新炉開発に向け
各製品群の供給を担う

原子力発電設備内にEKK製品が採用

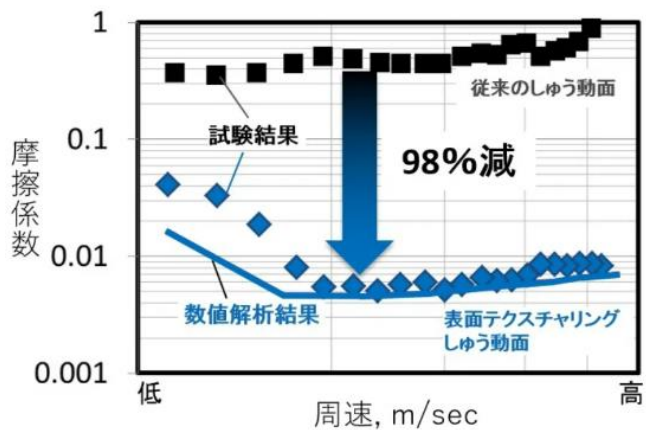


PWR型 | ノーコンタクトシール



BWR型 | 主蒸気隔離弁

EKKの表面テクスチャリングメカニカルシール



次世代モビリティ



EV

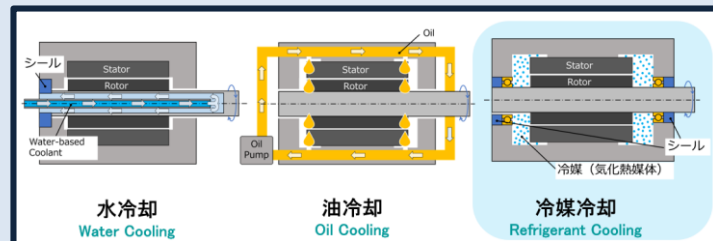


船舶

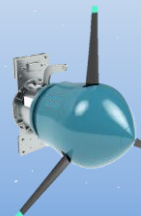


航空機

電動モータ



次世代エネルギー



潮流・海洋発電

圧力/温度の同時計測、測定データを無線で送信し遠隔地から機器状態の監視が可能

電池駆動で長寿命なワイヤレスセンサの製品化を実現

マルチセンサシステム

センサ



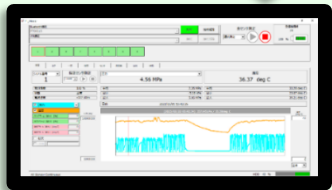
無線通信

受信機



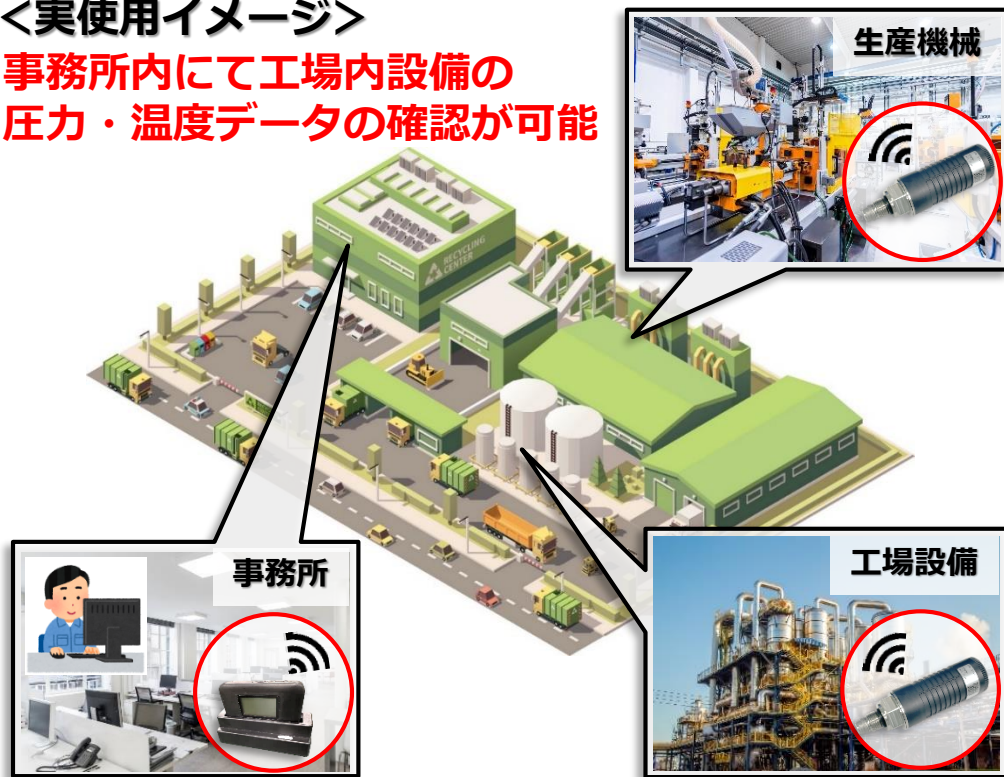
無線通信

PC
(ソフトウェア)



＜実使用イメージ＞

事務所内にて工場内設備の
圧力・温度データの確認が可能



アキュムレータ
ガス圧センサ

&

センサ単体



2030年度 売上高200億円

